

眞榊の育て方留意点

姿形や色が良好な葉の眞榊に育てる為に、次の事にご留意下さい。

1. 植える場所

活性する眞榊は、表土は有機質に富み、高木間の南面の木漏れ陽を受け、水湿に恵まれています。このことから、植える場所は、朝陽を受ける所、明るい「日陰」が良いでしょう。神事用として良好な葉の形姿を維持するためにも、直射、西陽は葉焼けの原因となりますので避けましょう。

2. 植付け方法

- ① 植える前にポット苗に充分の水を与えておく。
- ② 鉢の2倍ほど穴をほる。
- ③ 掘り上げた土に同量の堆肥を加える。
- ④ 1穴につき、50gほどの化成肥料（N8P8K8）を②に加え、よく混ぜ合わせる。
- ⑤ ③の混合土半量ほどを植え穴の底部に敷き、鉢から抜いた苗の上部が植え穴の1cmほど下になるよう加減して持ち、残りの混合土を苗の周囲、及び上部に補給し、苗の上部を軽く押して苗を落ち着かせる。
- ⑥ 全ての苗が植え終わったら、たっぷり灌水して完了です。

3. 日頃の管理

- ① 土に下ろした後は特に管理は要りませんが、日照りが続くような時は、灌水して下さい。
- ② 強風などで苗が斜めになるようなことを避けるためには、支柱で軽く支えて下さい。

以上